



磐二小だより

磐梯町立磐梯第二小学校
令和6年3月22日
第30号
発行責任者 近野 典男

☆教育目標「自己を拓き、共に生きる、健康で品性の高い子ども」

○自分から学びます ○共に磨きます ○互いに鍛えます

【スローガン】キラキラとひとみが輝く二小の子ども

ご卒業おめでとうございます

木々の芽も膨らみはじめ、磐梯の里にも春の訪れが感じられるようになりました。

本日、令和5年度卒業証書授与式を実施しました。7名の卒業生の皆さん、並びに保護者の皆様、おめでとうございます。

卒業生は、これまで二小をリードしてきた子どもたちだけに、式に向けての練習で見せる所作がいつもすばらしく、「さすが」と感じるものでした。卒業を目前に控えた学級の雰囲気もとても温かく、それを見ながら嬉しさと同時に寂しさも感じるこの頃でした。

小学校生活の締めくくりとなるこの式が思い出多いものになるようにと願い、在校生も教職員も一丸となって準備を進めてきました。特に、在校生が卒業生を思って一生懸命になっている姿をいろいろな場面で見ることができ、優しい子どもたちだと改めて感じました。

卒業生の皆さんには、この磐梯二小で学んだことを誇りとし、自分の夢や希望に向かって大きく羽ばたいてほしいと思います。



修了式を行いました



二小の子どもたちには明るさと活気があり、今年度もキラキラとひとみを輝かせる場面を数多く見ることができました。また、一人一人のがんばりが形となり、たくさんの表彰を受けて学校の大きな誇りにつながりました。テレビ取材もあったというのはよい思い出です。こうして充実感をもって1年を終えることができますこと、ひとえに保護者、地域の皆様のご理解・ご協力があってこそのものであり、改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、本日、修了式を行いました。そして、校長からの話の中で各学年のよさをエピソードとともに振り返りました。どのような姿を価値付けようかと考えていると、どの学年も次々エピソードが浮かんで来て、時間が足りないと感じるほどでした。もうすぐ6名の1年生が入学してきます。一つずつ進級し、また立派に成長していく姿が、今からとても楽しみです。

明日から春休み

明日から春休みとなります。新年度によいスタートを切るために大切な期間となります。ぜひ、学習面でも計画を立ててがんばることができるよう、ご家庭での励ましをよろしくお願いいたします。タブレットを持ち帰りますので、eライブラリの活用が可能です。タイムマップ等を時々見ていただければ幸いです。

もちろん、事故やけがのない健康な生活を送るとというのが大前提であり、その指導も行いました。健康で安全な生活ができますように、ご家庭でも言葉がけをよろしくお願いいたします。何かございましたら学校にご連絡ください。なお、万が一、声かけ等があった際には、速やかに警察に連絡をしていただければと思います。

〈連絡先〉 磐梯第二小学校 ☎73-3141 またはコドモン
磐梯駐在所 ☎73-2132

〈年度末、年度はじめの予定〉

年度末・年度はじめに予定されている行事等の対応は以下の通りです。なお、行き帰りの安全に関しまして、ご家庭でも言葉がけ等よろしくお願いいたします。

【離任式・教室移動（3/29）】

- ・児童登校8:30（全学年、集団登校）
- ・式は9:00より児童、教職員のみで行います。
- ・9:40頃から玄関前で見送りを行います。下校10:00頃
- ・その後4、5年生が参加して教室移動作業を行います。下校は11:35頃
- ・退職、転出職員に関してはコドモンで配信しますのでご確認ください。（3/26予定）

【入学式準備（4/5）】

- ・新6年生による入学式準備と新2年生による入学式「歓迎の言葉」練習を行います。
- ・児童登校9:00（当該学年、集団登校）

【披露式・始業式・入学式（4/8）】

- ・入学式は全校児童が参加して行います。
- ・新しい教科書を配付しますので、ランドセルを持たせてください。

令和6年度 ますます充実の磐梯二小に

「ICTを生かせる学校」「地域と共に歩む学校」「スケールメリットを生かせる学校」の三つを特色として打ち出して2年が経ちました。こうした学校の経営方針に理解を示し最大限のご支援・ご協力をいただきましたことに、心より感謝申し上げます。

特に、スケールメリットという言葉は聞き慣れないものであったかとは思いますが、今では二小の大きな特色として認知していただけるようになりました。「小規模だからこそこんなことができる！」という思いを共有し、みんなで自慢に思うことができたというのはこの上ない喜びです。

新年度になってご説明させていただくことになると思いますが、令和6年度磐梯第二小学校学校経営・運営ビジョンも完成しました。これまでのよさを生かしながら、さらに「子どもが真ん中」を合言葉に、教育活動の推進と省察を行っています。次年度も教職員一丸となって子どもたちのために尽力して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。